

人権学習

現在、識字についての学習を行っています。外国の問診票の体験をしたり、「雨の指もじ」や「夕やけがうつくしい」の学習を行ってたりしてきました。文字の読み書きができないことで多くの困りごとがあること、読み書きができることがその後の人生や生き方をも変えていくことに気づくことができました。

6月22日には、識字学級を訪れる予定です。識字学級での交流を通して、識字学級に通う方や共学者の思いに耳を傾け、同和問題について、今後の生き方について、より考えを深めていきたいと考えています。

【ビデオ「雨の指もじ」の感想から】

- 文字を読んだり書いたりできないことで、仕事や日常生活が他の人より少し不便になっていました。不便なことは自分だけでなく、家族などまわりの人にもつながっていて驚きました。
- お母さんお父さんが「文字が読めない」ということを、子供たちが受け入れて共に生活していることに感動しました。
- この映画を見て、文字の読み書きができないことで大変な思いをしている人がいることを知りました。文字の読み書きができないことは、部落差別で学校に生きたくても行けなかったので仕方のないことですが、周りから見ると理由を知らない人が多いので苦しい思いをした人もいると思います。自分の身近なところでも差別があるかもしれません。そのような差別が少しずつでもなくなっていくといいなと改めて思いました。そのために、まず自分の生活を見直していきたいなと思います。
- 文字を学び始めてから少しずつ昔の苦しみを克服していった、文字を学ぶことが喜びになっていて識字教室は本当にすごいと思いました。文字を学ぶことで生活する中でも新しい発見や生き方ができている姿に心打たれました。字が読める、書けることでこんなにもその人の人生が楽しく、明るいものになるんだなと改めて感じることができました。

“アンネのバラ” プロジェクト

6月初旬、川島中高の中庭に「アンネのバラ」が鮮やかに咲きました。このバラは約20年前に川島高校の教員と保護者が研修で広島県福山市にあるホロコースト記念館を訪れたことを機に、分けていただいたものです。さらに、5月23日には、2鉢の「アンネのバラ」を分けていただきました。「アンネのバラ」は「Souvenir d' Anne Frank」という品種で、「アンネ・フランクの形見」という意味があります。

今年度、2年生を中心として、アンネや、アンネの父であるオットー・フランクの思いにふれ、「平和」について考えていく予定です。また、今後「アンネのバラ」を大切に育てていき、「平和」と「人権尊重」の輪を広げていきたいと思っています。



参観授業・PTA総会

21HRは国語、22HRは数学の授業を行いました。生徒たちは緊張しているようでしたが、落ち着いて学習に取り組みました。

たくさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。

